

2020.01.20 物流ウィークリー

愛情詰まったジャンパーに感激 誕生日にサプライズ

ロジックスライン



どどともに感激
に変わった。

「二人ではな
くグループで、
こんなことを企
画してくれたこ
とは本当にうれ
しかった」と振
り返る同社長。
今では、ことあ
るごとにジャン
パーに袖を通
しているとい

う。従業員の愛情が
詰まったジャンパー
は、同社長にとって、
かけがえのない宝物
になった。

(高田直樹)

(レイアウト・天野由佳梨)

【千葉】従業員に
囲まれて、真ん中で
ジャンパーを身にま
とうロジックスライ
ン(成田市)の沢田
秀明社長。背中には
「LOGIXLINE
CEO」の文字
が。

同社では、毎月、
安全会議を開いてい
るが、前回の安全大
会終了後に、突然従
業員から話があると
言われたという同社
長。「最初は何事か
と戸惑いも感じた」
という。

従業員らの
サプライズ
で企画して
いたもの
だった。

最初は何
事かと戸惑
いも感じた
同社長だっ
たが、その
戸惑いは一
瞬にして安

従業員に
い付いていくと、そ
こには5人のドライ
バーがいた。そして

2020.01.20 物流ウィークリー

ロジックスライン

地域ナンバーワンめざす

【千葉】ロジックスライン（沢田秀明社長、成田市）は11日、2020年年頭式並びに新年会を開催、同社社員をはじめ、荷主や取引会社など、多くの来賓が出席した。

沢田社長は、行政がトラック業界を取り巻く環境整備に本腰を入れていること



を指摘し、「コンプライアンスを守るのが使命で、トラック企業が今後、生き残っていかない。そんな社会になっていく」とした上で、「輸送品質にこだわるプロフェッショナル集団として、交通事故や労災事故、荷物事故を撲滅し、地域ナンバーワンと認められる会社を目指していきたい」とあいさつを述べ、さらなる協力を求めた。

年頭式では、永年勤続表彰が行われ、10年表彰、15年表彰

でそれぞれ2人の計4人が壇上に上がり、沢田社長から感謝状と記念品が贈呈された。

引き続きドライバー各リーダー並びに管理職の2020年の取り組みの発表が行われ、小型・中型グループ、大型グループのそれぞれリーダー、そして管理課長や営業所長が今年の取り組みや抱負を述べた。

最後に同社長が経営指針を発表し、業界の動向や同社の取り組みについて述べた。

年頭式終了後には、新年会が開催され、豪華景品が当た

るお楽しみ大抽選会やものまねショーなどのアトラクションもあり、会場は大いに盛り上がった。

（高田直樹）